

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路整備課
担当課長名：杉本 孝誠

事業名	一般国道438号 <small>かみはちまん</small> 上八万バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県徳島市八万町大坪 至：徳島県名東郡佐那河内村下字一ノ瀬				延長	5.5km
事業概要 一般国道438号は県央部を横断する幹線道路であり、徳島市内においては渋滞解消を目的とする放射環状道路に位置付けられている。上八万バイパスは、「国が進める徳島南環状道路への連絡道路」及び「朝夕の交通渋滞の緩和と歩車道の分離が不十分なために多発している交通事故の解消」、「佐那河内村や神山町との交流促進」を図ることを目的に整備する2車線道路である。						
昭和63年度事業化		-		平成3年度用地着手		平成4年度工事着手
全体事業費	145 億円	事業進捗率	77.0 %	供用済延長	3.1 km	
計画交通量 2,600~12,400台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年 令和5年度
	事業全体 0.9 (1.2)※1 残事業 1.8 (1.8)※1	(残事業) / (事業全体) 26.4億円/228.3億円 事業費:25.7億円/225.9億円 維持管理費:0.6億円/ 2.4億円		(残事業) / (事業全体) 47.9億円/277.7億円 走行時間短縮便益 :37.1億円/191.1億円 走行経費減少便益 : 9.1億円/ 16.0億円 交通事故減少便益 : 1.2億円/ 5.6億円 環境負荷低減便益 : 0.4億円/ 12.6億円 救急救命率向上便益: 0.1億円/ 52.3億円		
感度分析の結果	【事業全体】 交通量：B/C=0.84~1.03 (交通量±10%) 事業費：B/C=0.85~1.04 (事業費±10%) 事業期間：B/C=0.91~0.95 (事業期間±2年)			【残事業】 交通量：B/C=1.62~1.98(交通量±10%) 事業費：B/C=1.66~1.96(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.64~1.97(事業期間±2年)		
事業の効果等 ■ 国土、地域ネットワークの構築：徳島南環状道路 上八万ICへのアクセス向上 ■ 災害への備え：緊急輸送道路ネットワークの強化による地域防災力の向上 園瀬川出水時の道路冠水の解消 ■ 周辺地域の効果：地域の安全の確保、地域産業の物流の効率化						
関係する地方公共団体等の意見 ■ 沿線市町村で構成する「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。						
前回再評価時より今回再評価実施までの周辺環境変化等 ■ 令和4年5月：「医療法人 清和会 協立病院」が園瀬橋南へ移転。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 ■ 平成15年度末の供用区間は全延長5.5kmのうち、中山・花房工区の約1.5kmが供用済み。 ■ 平成22年6月には大木工区の約0.6kmが供用。平成27年2月には園瀬橋工区の約1.0kmが供用。 ■ 残事業箇所は一ノ瀬工区及び田中・西地工区のバイパス部。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ■ トンネル周辺の土質が想定よりも緩く施工に時間を要した。 ■ 線形不良・幅員狭小な一ノ瀬工区の早期供用を目指す。						
施工の構造や工法の変更等 ■ 構造物のプレキャスト化（L型擁壁）によりコスト縮減及び工期短縮を図っている。 ■ 坑口位置及び補助工法を見直しコスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針の決定理由	■ 以上の事業の効果、進捗状況等を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。					
事業概要図	<p>一ノ瀬2号トンネル L=280m 一ノ瀬2号トンネル L=150m 西地橋 L=85m 田中トンネル L=1040m 一ノ瀬 L=1,100m ④田中・西地 L=1,300m ③中山・花房 L=1,500m ②大木 L=600m ①園瀬橋 L=1,000m 園瀬橋 L=97m</p> <p>一般国道438号 上八万バイパス L=5.5km</p> <p>凡例 ■■■■■ 再評価箇所 ■■■■■ うち供用中</p>					

・総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。
 ・総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。
 ※1 環境負荷低減便益（騒音・CO2・NOXの低減）、救急救命率向上便益を考慮した事業費及びB/C。